

今年の小正月行事は、市内でも新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止するところもありましたが、上条では今年もオコヤタテ、どんど焼きを無事行うことができました。一日も早い新型コロナウイルスの終息、そして皆様のご健勝、五穀豊穡、家内安全をお祈りしております。

オコヤタテ&どんど焼き

1月9日（土）に道祖神場にてオコヤタテが行われました。作業は朝8時から始まり、午後3時頃に完成しました。組の方20名程で作業は担当を分けて行い、手際よくオコヤが建てられていきました。今年のオコヤも立派にでき上がり、上条の皆さんの団結力を強く感じました。

1月14日（火）にはどんど焼きが行われました。午後5時過ぎより火が焚かれ、午後6時頃、組の皆さんが集まったところでまず太鼓をたたきます。次にオコヤが解体され、順次火にくべられました。パチパチと音を立てて勢いよく炎が燃え上がりました。炎が落ち着いたところで、各家庭で作ったお団子をどんど焼きの火で焼きました。皆で火を囲みながら、今年一年の無病息災を祈願しました。



甲州市の道祖神祭りのオコヤ

1月14日を中心に行われている小正月行事（道祖神祭り、どんど焼きなど）は、山梨県内では広くみられています。その形態はさまざま、小屋の呼び名や形は地域によって異なります。ここでは今年、神金地域周辺でつくられた小屋（オコヤ、オチョーヤ）の一部を写真で紹介します。神金地域のオコヤはお宮をかたちづくるオコヤが多いことが特徴です。



■ 塩山下小田原地区



■ 塩山上萩原地区



■ 塩山上萩原地区



■ 塩山上萩原地区(神戸組)

～市域の道祖神祭りのオコヤ・正月飾り～

市内各地域の小屋（オコヤ、オチョーヤ）を比較してみると、それぞれ受け継がれているかたちに特色があることがわかりますね！勝沼地域ではブドウ栽培が盛んになるにつれて、材料にブドウの木の枝が使われるようになり、今のかたちで受け継がれているそうです（令和元年度記録写真）。



■ 塩山松里地区

高く伸びる神木が特徴的で、松里地域に多く見られるオコヤです。



■ 勝沼町小佐手地区

手前のワラは、男性と女性を表しているそうです。



■ 大和町田野地区

市内一部の地域では、折り紙で飾り付けられた柳（ヤナギ）がたてられます。塩山地域の柳には、オコンブクロという袋状の飾りが付けられています。オコンブクロの意味は諸説ありますが、子孫繁栄や商売繁盛、裁縫が上手になるように、など願が込められています。



■ 塩山上塩後地区

柳にオコンブクロが付いています。



■ 勝沼町勝沼地区

ブドウの枝が使われています。

甲州市消防団神金分団第四部による出初め放水！

1月10日（日）、甲州市消防団神金分団第四部による出初め放水が行われました！出初め放水は、防火水槽の水利点検も兼ねて、毎年出初め式の日に合わせて行われています。天高く上がる水の勢いは大迫力でした。

各分団で取り組み内容は異なりますが、新築の住宅に向けて火事起きないように火伏せ放水する地域もあるそうです。



神金分団第四部の皆さまからオブック（菓子）が配られました。